

2022年7月28日

「不動産投資の楽待」が「IT 導入補助金 2022」の 対象ツールとして認定されました

水面下で物件紹介できる「提案サービス」の導入費用が最大半額に

株式会社ファーストロジック(本社:東京都中央区、東証スタンダード、証券コード:6037)が提供する、水面下で収益物件を紹介できる楽待の「提案サービス」が、経済産業省の「IT 導入補助金 2022」の対象ツールとして認定されました。これにより、補助対象となる企業が「提案サービス」を導入した場合、導入費用の2分の1(最大 60 万円)について補助を申請することが可能になります。

■「IT 導入補助金」とは？

「IT 導入補助金」とは、中小企業・小規模事業者等が自社の課題やニーズに合った IT ツールを導入する経費の一部を補助することで、業務効率化・売上アップをサポートするものです。当社においては、不動産会社向けに提供している「提案サービス」の「プレミアムプラン」および「スタンダードプラン」が IT 導入補助金の対象ツールとなりました。通常枠の A 類型が活用できます。

IT導入補助金通常枠A類型の概要

補助対象者	中小企業、小規模事業者
補助対象経費	ソフトウェア費・クラウド利用料・導入関連費等
補助額	30万～150万円未満
補助率	1/2

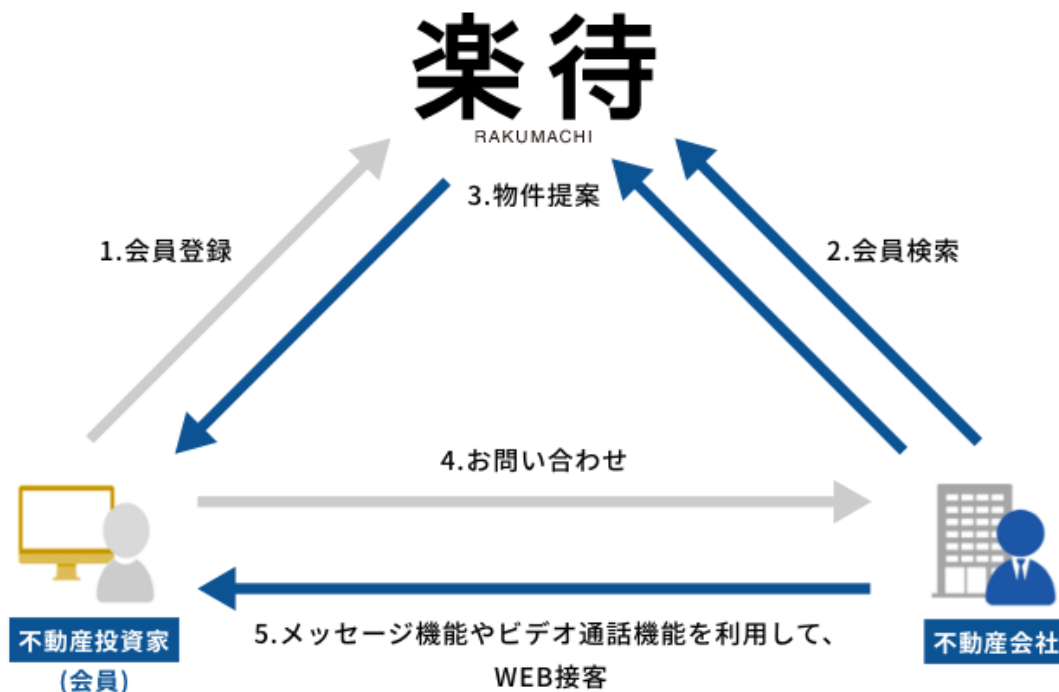
■補助金の対象となる「提案サービス」とは？

「提案サービス」とは、不動産会社向けのサービスで、楽待に会員登録している不動産投資家を購入条件や属性条件で絞りこみ、水面下で物件を提案することができるというものです。

物件提案に対して問合せがあった場合、楽待のメッセージ機能やビデオ通話機能を用いたオンライン商談が可能です。

今回は、1500 人に物件の紹介ができる「プレミアムプラン(年額 120 万円)」と 1000 人に物件の紹介ができる「スタンダードプラン(年額 90 万円)」が IT 導入補助金の対象ツールとなりました。この制度を利用した場合、導入費用の2分の1(最大 60 万円)について補助を申請することが可能になります。

■提案サービスの概要図



【不動産投資の「楽待」概要】

2006年3月に開設した「楽待」は、月間154万人が訪れる、利用者数・掲載物件数・使いやすさNo.1^(*)の不動産投資サイトです。全国4400社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探すことができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを発信。公式YouTube「不動産投資の楽待 [RAKUMACHI]」はチャンネル登録者数37.2万人、総再生回数は1億3700万回にのぼります。(2022年7月時点)

不動産業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)を促進するため、2020年6月には、不動産会社とオンライン上で会話ができる「ビデオ通話」機能もリリースしました。更に2022年6月には有料会員サービス「楽待プレミアム」を開始。有料会員登録することで、業界初^(**)の独自機能「路線価マップ」やプレミアム会員限定動画が見放題になります。「楽待プレミアム」では不動産投資に役立つ便利機能やコンテンツを今後も追加予定です。

今後も「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。

【会社概要】

社名:株式会社ファーストロジック

URL:<https://www.firstlogic.co.jp/>

上場市場:東証スタンダード(証券コード:6037)

本社:東京都中央区八丁堀三丁目3番5号 住友不動産八丁堀ビル5階

設立:2005年8月23日

事業内容:国内最大の不動産投資サイト「楽待」の運営

【本件の問い合わせ】

株式会社ファーストロジック広報担当:尾藤(びとう)

携帯電話:080-4129-5743

固定電話:03-6833-9438

E-mail:rakumachi@firstlogic.co.jp

*1『使いやすさ No.1』:ゴメス・コンサルティング調べ(2019年6月)

『利用者数 No.1』:自社調べ(2019年4月)

『物件数 No.1』:日本マーケティングリサーチ機構調べ(2020年10月)

*2 自社調べ(2022年5月)